

科目名	運動器障害基礎論	担当教員	小林 巧 小林 匠 大坪 英則 角瀬 邦晃 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	----------	------	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法専攻 作業療法専攻	専門基礎科目	必修	2年次	前期	3単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR23D	②					

科目概要	整形外科領域における代表的な疾患の病態、診断、治療について解説する。また、整形外科疾患と理学療法士および作業療法士の関わりについて解説する。
学習目標	① 整形外科領域における代表的な疾患の病態と治療を理解する。 ② 整形外科疾患と理学療法士・作業療法士の関わりについて理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論 1	整形外科の基礎科学	整形外科の基礎科学について理解する。	
2	総論 2	整形外科診断総論 1	整形外科の診断について理解する。	
3	総論 3	整形外科治療総論 2	整形外科治療について理解する。	
4	疾患総論 1	関節リウマチとその類縁疾患	関節リウマチとその類縁疾患について理解する。	
5	疾患総論 2	関節症、循環障害、壊死性疾患	変形性関節症とその類縁疾患、四肢循環障害と阻血性壊死疾患について理解する。	
6	疾患総論 3	代謝性骨疾患、先天性疾患、ロコモティブシンドローム	代謝性骨疾患、先天性疾患、ロコモティブシンドロームについて理解する。	
7	疾患各論 1	肩関節疾患と外傷の病態	肩関節の構造と機能を説明できる。 肩関節疾患・外傷について理解する。	
8	疾患各論 2	肘関節疾患と外傷の病態	肘関節の構造と機能を説明できる。 肘関節疾患・外傷について理解する。	
9	疾患各論 3	手関節疾患と外傷の病態	手関節と手の構造と機能を説明できる。 手関節疾患・外傷について理解する。	
10	疾患各論 4	手の疾患と外傷の病態	手の疾患・外傷について理解する。	
11	疾患各論 5	頸椎疾患と外傷の病態	脊柱の構造と機能を説明できる。 頸椎疾患・外傷について理解する。	
12	疾患各論 6	胸郭、胸椎疾患と外傷の病態	胸郭、胸椎疾患・外傷について理解する。	
13	疾患各論 7	腰椎疾患と外傷の病態	腰椎疾患・外傷について理解する。	
14	疾患各論 8	股関節疾患と外傷の病態 1	股関節の構造と機能を説明できる。 股関節疾患・外傷について理解する。	

15	疾患各論 9	股関節疾患と外傷の病態 2	股関節疾患・外傷について理解する。	
16	疾患各論 10	膝関節疾患と外傷の病態 1	膝関節の構造と機能を説明できる。 膝関節疾患・外傷について理解する。	
17	疾患各論 11	膝関節疾患と外傷の病態 2	膝関節疾患・外傷について理解する。	
18	疾患各論 12	足関節疾患と外傷の病態 1	足関節の構造と機能を説明できる。 足関節疾患・外傷について理解する。	
19	疾患各論 13	足部の疾患と外傷の病態 2	足部の疾患・外傷について理解する。	
20	外傷学 1	外傷総論・軟部組織損傷	外傷・軟部組織損傷について理解する。	
21	外傷学 2	脊髄損傷、末梢神経損傷	脊髄損傷、末梢神経損傷について理解する。	
22	スポーツ 1	上肢・体幹のスポーツ損傷	上肢・体幹のスポーツ傷害について理解する。	
23	スポーツ 2	下肢のスポーツ損傷	下肢のスポーツ傷害について理解する。	
<b>評価方法</b>		筆記試験（100%）		
<b>課題に対するフィードバック</b>		1 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。 2 定期試験の解説は、オフィスアワーの時間帯で対応する。		
<b>教科図書</b>		井樋栄二、他・編『標準整形外科学 第14版』医学書院、2020年		
<b>参考図書</b>		講義の中で、適宜紹介する。		
<b>学習の準備</b>		1 （予習）指定した教科書、もしくは事前に配布した資料について予習しておくこと（90分） 2 （復習）授業中に配布した資料を見直し、専門用語の意味等を理解しておくこと（90分）		
<b>オフィスアワー</b>		月曜日 13時~14時半、その他在室時はいつでも可		
<b>担当教員欄に※印を付した教員の実務経験</b>				